

優 秀 賞

水の大切さについて私が思うこと

茨城大学教育学部附属中学校

一年 田 上 綾 乃

私の家は、兼業農家です。毎年、一・四七ヘクタールの田んぼで稲を育てています。お米は日本人にとって主食であり、美味しいお米をつくるために水は欠かせません。しかし、近年雨が降らなかったりもしくは集中豪雨で一時的に短時間だけしか降らなかったりしています。そのような状況で用水路の水が不足すると、稲が育たず、結果として収穫量が減ってしまうことがあります。これは私たち農家の生活に直接影響を与えるだけでなく、消費者である皆さんにも影響を及ぼします。

水の供給が不安定な場合、農作物の品質や量に影響し、お米の価格高騰に反映されることもあります。昨年在がまさにそのような状況でした。私の住ん

でいる常澄地区は海に近い所にあります。水不足で川の水位が下がると、田んぼに水を引く採水場所まで水が逆流してしまいました。だから、田んぼの土が割れ、稲が枯れてしまいました。また、温暖化でお米につく種類のカメムシが大量発生します。そのため、成熟期の柔らかい稲穂を食い荒らしてしまい、精米した後黒く残って、品質がAランクからCランクに下がってしまいました。

現在、農業は私たちの生活において非常に重要な役割を果たしていますが、その一方で水の汚染の原因にもなっています。特に、化学肥料や農薬の使用が水を汚す原因です。これらの化学物質は、雨水とともに地下水や川に流れ込み、健康に悪影響を及ぼす可能性があります。私は、よく兄妹と田んぼの用水路でメダカなど生き物をとっています。しかし、その時とったのは、とても弱っているザリガニでした。父に話を聞くと、用水路に農薬が流れ、その用水路にいたザリガニが弱ってしまったと言っていました。このように、水の汚染は、生き物にも大きな影響を与えてしまうのです。そのため、農薬や化学

肥料の使用を減らしたり、合鴨農法や合鴨の動きを再現したアイガモ口ボを使用したりします。また、深水管理といって、田植えのあと水位を高くすることで雑草に日光が当たりづらくなり草の成長をおさえる方法もあります。

家では、田植えをする前にこのような工夫をしています。温湯消毒といって、十分に乾燥した種もみを袋詰めし、約六十度のお湯に十分間ほど付けるなどして無農薬で消毒しています。このように、農薬の使用を減らすため、農薬における水の使用方法や管理方法を見直すことが必要です。

また、雨が降らなかったり、水が不足してしまったりすると農業以外にも問題が発生してしまいます。私の父は消防士として働いており、以前、山火事の際に緊急消防援助隊として支援に行ったことがありました。日本は、山が多く、また山火事もひんぱんに起こります。このように、雨が降らず、乾燥することによって全国で火事が増えてしまいます。水は火を消すためにも重要であり、火事の被害を最小限におさえるためには欠かせない存在です。

このように水は、あらゆる場面で使われており、生きるための重要な資源です。多くの国々では、水不足や水質の悪化が深刻な問題となっており、日常的に安全な水を確保することが難しいといわれています。日本のように安全で清潔な水を飲める国は、多くありません。水は、私たちの命を支えるものです。だからこそ、安全で安心な水を飲めることに感謝し、一人ひとりが水が無駄にしないよう心がけることが、未来の水を守るために必要です。お風呂や水道などの水をこまめに止めたり、油汚れは紙や不要な布で拭き取ってから洗ったりするなど、水の使用を見直し、節水を心がける。私たちが日常生活の中でできることはたくさんあります。今、私たちにできることを考えていきましょう。